



えん 園だより 11月号

Y M C A 保育園ねがい
2024 年 11 月 1 日発行

「成長させてくださったのは神です。」

コリントの信徒への手紙 I 3章6節



木々も色づき、実りの秋を迎えました。保育園でも、たっぷりと秋の味覚を味わえたらと願っています。生きる事は食べる事！お米をはじめ果物や野菜が次々に盛りを迎え、今年は秋刀魚も豊漁のようなので、楽しみにしています。

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」と今月の聖書の箇所にかかれていています。

保育園の子どもたちは、夏の数日のお休みにも「あらっ?！」と思うほど成長した姿をみせてくれました。そして、北風が吹くようになった今、年度のはじめに比べて見違えるように一人ひとりの顔つきが大人びてきています。一人ひとりの成長はどこから来るのでしょうか。

植物の成長になぞらえてみると、種は生まれつき備わっている遺伝的な資質でしょう。注がれる水とは、与えられた環境の事になるかもしれません。暑い夏も寒い冬も身体を健康を保ちながら、楽しい事や悲しい事に葛藤するという経験を重ねて行くのでしょうか。いろいろな人と出会うことでその人なりの折り合いをつけられるようになる環境での経験でしょうか。

人の育ちにとって遺伝と環境は重要な要素ですが、今与えられている「いのち」を共に感謝したいと祈ります。人生は思い通りに行くことばかりではありませんが、様々な経験を通して神様が愛を注いでくださり、一人ひとりがこれからもずっと豊かに成長していく事を願っています。

えんちょう いまいせつ
(園長 今井世都)

